

長岡技術科学大学学報

平成17年10月1日

総務部総務課

目次

学内規則	2	・平成17年度長岡技科大・長岡高専技術シーズプレゼンテーション	27
人事	3	・(財)道央産業技術振興機構産学官連携視察見学	27
・人事異動	3	・技術開発懇談会	27
会議	5	・公開講座	27
学事	11	・長岡技術科学大学特許実務セミナー	27
・博士(工学)の学位授与	11	・匠陵講演会	27
・平成18年度第1学年学生募集の概要	12	・特別講演会	27
・平成18年度第1学年学生募集要項(推薦選抜)(概要)	19	・現代GPフォーラム	28
・平成18年度第3学年入学者選抜状況	22	・eラーニング高等教育連携(eSAFE関連)全体会議	28
・平成18年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜状況(第1次募集)	24	・技術職員研修	28
・平成18年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜状況(第1次募集)	25	・中学校数学アカデミー	28
諸報	26	・サイエンス・パートナーシップ・プログラム	28
・受賞関係	26	・学内就職ガイダンス	29
・叙位・叙勲	26	・第25回技大祭	29
・永年勤続者表彰	26	・秋季球技大会	29
・AED(自動体外式除細動器)講習会	26	・第2回長岡技術科学大学マレーシア同窓会	29
・安全衛生管理に関する講演会	26	・第7回(平成17年度)高等専門学校及び技術科学大学図書館情報シンポジウム	29
・公開講演会(地域復活・人間復活講座)	26	・平成17年度科学研究費補助金交付決定一覧	30
		・日誌	33

学 内 規 則

制定日 〔制定番号〕	学内規則等名	制定・改廃理由
平成 17 年 8 月 3 日 〔規則第 9 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 学長の任期に関する規則	国立大学法人法（平成 15 年法律第 112 号）第 15 条第 1 項の規定に基づき、学長の任期に関し、必要な事項を定めること。
平成 17 年 9 月 30 日 〔規則第 10 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 事務組織規程の一部を改正する 規程の施行に伴う関係規則の整理 に関する規則	国立大学法人長岡技術科学大学事務組織 規程の一部を改正する規程の施行に伴い、 関係規則の整理を行うこと。
平成 17 年 8 月 3 日 〔規程第 9 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 永年勤続者表彰規程の一部を改 正する規程	表彰文の見直しに伴い、所要の改正を行 うこと。
平成 17 年 9 月 30 日 〔規程第 10 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 事務組織規程の一部を改正する 規程	知的財産戦略を中心とした産学連携体制 の強化、国際交流の教育研究分野の一元化 及び事務の効率化のため事務組織を改組す ることに伴い、所要の改正をすること。
平成 17 年 9 月 30 日 〔規程第 11 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 事務分掌規程の一部を改正する 規程	知的財産戦略を中心とした産学連携体制 の強化、国際交流の教育研究分野の一元化 及び事務の効率化のため事務組織を改組す ることに伴い、所要の改正をすること。
平成 17 年 9 月 30 日 〔規程第 12 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 事務組織規程の一部を改正する 規程の施行に伴う関係規程の整 理に関する規程	国立大学法人長岡技術科学大学事務組織 規程の一部を改正する規程の施行に伴い、 関係規程の整理を行うこと。
平成 17 年 9 月 30 日 〔規程第 13 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 文書処理規程の一部を改正する 規程	国立大学法人長岡技術科学大学事務組織 規程の一部を改正する規程の施行に伴い、 事務局部課の名称変更及び文書取扱いの見 直しを行ったため、所要の改正をすること。 。
平成 17 年 9 月 30 日 〔細則第 3 号〕	国立大学法人長岡技術科学大学 契約事務取扱細則の一部を改正 する細則	予定価格の作成の省略について明文化す ること及び複数年契約を実施することに伴 い、所要の改正をすること。
平成 17 年 9 月 30 日	国立大学法人長岡技術科学大学 事務組織規程の一部を改正する 規程の施行に伴う関係要項の整 理に関する要項	国立大学法人長岡技術科学大学事務組織 規程の一部を改正する規程の施行に伴い、 関係要項の整理を行うこと。
平成 17 年 10 月 1 日	国立大学法人長岡技術科学大学 国際交流に係る学生の滞在費・ 渡航費補助に関する要項	学術国際委員会で採択される国際交流推 進プロジェクトのうち、学生交流に係る経 費を学生の滞在費・渡航費補助として支給 することに関し、必要な事項を定めるこ と。

人 事

人事異動（教員）

発令年月日	異動前の職名	氏 名	異 動 内 容
17.8.1	電気系助教授	木村宗弘	(兼務免)理学センター
"	電気系助教授	中川健治	(兼務命)理学センター
17.8.31	環境・建設系助手	山川優樹	辞職(9月1日付け東北大学採用)
17.9.1	経営情報系教授	三上喜貴	留学生センター長(命) (任期:平成18年3月31日まで)
"	機械系教授	石崎幸三	留学生センター長(免)
"	(採用)	柴崎秀子	留学生センター教授
17.9.16	電気系教授	赤羽正志	附属図書館長(命) (任期:平成19年9月15日まで)

人事異動（事務系職員）

発令年月日	異動前の職名	氏 名	異 動 内 容
17.7.4	学務部長	星野茂登一	学務部学生支援課長事務代理(命)
17.8.30	学務部長	星野茂登一	学務部学生支援課長事務代理(免)
17.8.31	学務部学術情報課長	渡邊守	辞職
"	学務部学務課専門員	横山昭	辞職
17.9.1	学務部長	星野茂登一	学務部学術情報課長事務取扱(命)
"	(採用)	吉田充紀	学務部学務課
17.10.1	学務部長	星野茂登一	学務部学術情報課長事務取扱(免)
"	学務部留学生課長	関根三則	総務部研究推進課長
"	総務部産学連携・研究推進課長	市川雅一	総務部産学連携課長
"	総務部国際企画課長	飯野明正	学務部国際課長
"	学務部入試課課長補佐	佐藤一男	学務部学術情報課長
"	総務部産学連携・研究推進課課長補佐(研究推進・支援担当)	増田勝郎	総務部研究支援課課長補佐
"	総務部産学連携・研究推進課課長補佐(産学連携・知的財産担当)	中原誠	総務部産学連携課課長補佐
"	学務部学務課教育交流係長	金山勝春	学務部学生支援課課長補佐
"	学務部学生支援課課長補佐	清水明	学務部入試課課長補佐
"	総務部国際企画課課長補佐(兼学務部留学生課課長補佐)	齋藤寛章	学務部国際課課長補佐
"	総務部産学連携・研究推進課産学連携係長	田村正美	総務部産学連携課専門員(産学連携担当) (兼 総務部産学連携課産学連携係長)
"	学務部学務課教務係長	武樋伸一	学務部学務課専門員(教務担当) (兼 学務部学務課教務係長)

"	総務部産学連携・研究推進課研究推進係長	中島鉄行	総務部研究推進課研究推進係長
"	総務部産学連携・研究推進課研究支援係長	片桐保男	総務部研究推進課研究支援係長
"	総務部産学連携・研究推進課知的財産係長	藤崎隆男	総務部産学連携課知的財産係長
"	総務部産学連携・研究推進課研究推進係研究推進主任	小林和博	総務部産学連携課専門職員（受託・共同研究担当）
"	学務部学務課教育交流係教育交流主任	大野順広	学務部学務課教育交流係長
"	学務部学務課学務係	大島賢治	学務部学務課技術専門職員
"	総務部国際企画課国際企画係長	下妻功	学務部国際課国際交流係長
"	学務部留学生課留学生係長	高田暁子	学務部国際課留学生支援係長
"	総務部国際企画課国際企画係国際企画主任	須田哲也	学務部国際課国際交流係国際交流主任
"	総務部産学連携・研究推進課産学連携係産学連携主任	小出徹	総務部産学連携課産学連携係産学連携主任
"	総務部産学連携・研究推進課産学連携係産学連携主任	佐藤昌孝	総務部産学連携課知的財産係知的財産主任
"	総務部施設管理課管理保全係	渡邊朋之	総務部施設管理課施設企画係
"	総務部施設管理課施設整備係	五十嵐誠	総務部施設管理課管理保全係
"	総務部施設管理課管理保全係	加藤香奈	総務部施設管理課施設整備係
"	総務部産学連携・研究推進課研究推進係	数藤悦子	総務部研究推進課研究推進係
"	学務部留学生課留学生係	丸山修央	学務部国際課留学生支援係
"	学務部留学生課留学生係	寺澤武	学務部国際課留学生支援係
"	（採用）	磯部泰子	学務部学務課教育交流係

人事異動（事務系職員）

発令年月日	異動前の職名	氏名	異動内容
17.10.1	総務部産学連携・研究推進課	柴田有紀	総務部産学連携課
"	総務部産学連携・研究推進課	桑原美恵子	総務部産学連携課
"	学務部留学生課	坂牧里和	学務部国際課

会 議

役員会

〔第19回〕

- ・日時 平成17年8月3日(水) 10時55分
- 議題 1. 学長の任期に関する規則の制定について

〔第20回〕

- ・日時 平成17年8月31日(水) 11時
- 議題 1. 人事院勧告について
2. 平成18年度学内予算編成等日程について

〔第21回〕

- ・日時 平成17年9月28日(水) 11時
- 議題 1. 平成18年度学内予算編成基本方針(案)について

教育研究評議会

〔第19回〕

- ・日時 平成17年7月6日(水) 13時35分
- 議題 1. 学長の任期に関する規則の制定について
2. 平成17年度非常勤講師の選考について

〔第20回〕

- ・日時 平成17年8月10日(水) 13時30分
- 議題 1. 教員の選考について
2. 教員選考委員会の設置について
3. 技術開発センター非常勤講師(客員教授)の選考について
4. 極限エネルギー密度工学研究センター非常勤講師(研究機関研究員)の選考について
5. 客員教授の選考について
6. 寄附講座の更新及び寄附講座教員の更新について
7. 学生の処分について

〔第21回〕

- ・日時 平成17年9月7日(水) 13時30分
- 議題 1. 教員選考委員会の設置について
2. eラーニング研究実践センター非常勤講師(客員教授)の選考について
3. 平成17年度非常勤講師の選考について
4. 学生の入学料未納者について

教授会(教授, 助教授及び講師)

〔第329回〕

- ・日時 平成17年7月20日(水) 13時30分
- 議題 1. 平成17年度大学院工学研究科修士課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
2. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
3. 平成18年度第3学年(学力選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
4. 平成18年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験(学内選抜)推薦者の決定について
5. 平成18年度大学院工学研究科修士課程(高専専攻科修了見込者推薦選抜)入学者選抜試験合格者の選考について
6. 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について

〔第330回〕

- ・日時 平成17年8月24日(水) 13時30分
- 議題 1. 学生の処分について
2. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程9月進学者の選考(第2次選考)について
3. 大学院修了者(8月)の認定について
4. 論文博士の学位授与について
5. 寄附講座の更新及び寄附講座教員の更新について

〔第331回〕

- ・日時 平成17年9月14日(水) 13時30分
- 議題 1. 平成18年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験合格者の選考について
2. 平成18年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考(第1次選考)について
3. 平成18年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜試験合格者の選考について
4. 平成18年度大使館推薦による国

費外国人留学生の選考について

5 . 学部卒業者 (9 月) の認定について

6 . 大学院工学研究科修了者 (9 月) の認定について

7 . 論文博士の学位授与について

8 . 学生の入学料未納者について

教授会 (教授)

[第 329 回]

・日時 平成 17 年 7 月 20 日 (水) 15 時 45 分
議題 1 . 平成 17 年度非常勤講師の選考について

[第 330 回]

・日時 平成 17 年 8 月 24 日 (水) 15 時 05 分
議題 1 . 教員の選考について
2 . 教員選考委員会の設置について
3 . 技術開発センター非常勤講師 (客員教授) の選考について
4 . 極限エネルギー密度工学研究センター非常勤講師 (研究機関研究員) の選考について
5 . 客員教授の選考について

[第 331 回]

・日時 平成 17 年 9 月 14 日 (水) 15 時 45 分
議題 1 . 教員選考委員会の設置について
2 . e ラーニング研究実践センター非常勤講師 (客員教授) の選考について
3 . 平成 17 年度非常勤講師の選考について

開学 30 周年記念事業実行委員会同窓会部会

[第 2 回]

・日時 平成 17 年 8 月 10 日 (水) 15 時 35 分
議題 1 . 同窓会趣意書送付状について
2 . 同窓会部会の企画について

[第 3 回]

・日時 平成 17 年 9 月 21 日 (水) 13 時 30 分
議題 1 . 同窓会部会の企画について

第 1 回開学 30 周年記念事業実行委員会財務部会

・日時 平成 17 年 8 月 24 日 (水) 16 時 00 分
議題 1 . 開学 30 周年記念事業の概要について
2 . 募金申込状況について

3 . 支払予定について

第 2 回開学 30 周年記念事業実行委員会講演部会

・日時 平成 17 年 8 月 29 日 (月) 13 時
議題 1 . 講演会の内容について

開学 30 周年記念事業実行委員会記念誌出版事業部会

[第 2 回]

・日時 平成 17 年 7 月 7 日 (木) 9 時
議題 1 . 記念誌出版事業部会組織について
2 . 記念誌出版事業部会 (懸賞論文含む) の日程等について

[第 3 回]

・日時 平成 17 年 9 月 12 日 (月) 13 時 30 分
議題 1 . 記念誌のコンセプト及び日程について

第 1 回評価室会議

・日時 平成 17 年 7 月 6 日 (水) 15 時 55 分
議題 1 . 教員評価について

広報委員会 V O S 専門部会

[第 2 回]

・日時 平成 17 年 7 月 21 日 (木) 16 時 15 分
議題 V O S 129 号企画について

[第 3 回]

・日時 平成 17 年 9 月 22 日 (木) 13 時 30 分
議題 V O S 129 号の発行について

広報委員会高専広報専門部会

[第 2 回]

・日時 平成 17 年 7 月 28 日 (木) 9 時
議題 1 . 窓口教員について
2 . 訪問予定高専の報告について
3 . 各系リーフレットの作成について

[第 3 回]

・日時 平成 17 年 8 月 30 日 (火) 13 時 15 分
議題 1 . 高専アンケートの結果について
2 . 高専広報旅費の配分額について

安全衛生管理委員会

[第 4 回]

・日時 平成 17 年 7 月 27 日 (水) 14 時 10 分
議題 1 . レーザー機器装置の設置状況等調査結果について

- 2 . 安全自主点検の結果について
- 3 . 安全パトロールの実施について
- 4 . 裁量労働従事者の健康状態自己診断の実施について
- 5 . 定期健康診断及び特殊健康診断の実施について
- 6 . 学生の安全対策検討部会委員の変更について

〔第5回〕

- ・日時 平成 17 年 9 月 20 日(火) 10 時 40 分
- 議題 1 . 石綿を使用する製品に関する当面の対応について
- 2 . 安全自主点検の結果について
- 3 . 安全パトロールについて

〔第6回〕

- ・日時 平成 17 年 9 月 28 日(水) 13 時 35 分
- 議題 1 . 全国労働衛生週間等について
- 2 . 裁量労働従事者の健康状態自己診断の結果について

第1回安全衛生管理委員会学生の安全対策検討部会

- ・日時 平成 17 年 7 月 11 日(月) 13 時
- 議題 1 . 学生の安全教育について

第1回セクシュアル・ハラスメント対策委員会

- ・日時 平成 17 年 7 月 26 日(火) 13 時 30 分
- 議題 1 . 本学のセクシュアル・ハラスメント防止体制について
- 2 . セクシュアル・ハラスメント防止等に関する取組について

第1回職員レクリエーション委員会

- ・日時 平成 17 年 7 月 7 日(木) 13 時 15 分
- 議題 1 . 平成 16 年度職員レクリエーション行事実施報告について
- 2 . 平成 17 年度職員レクリエーション行事実施計画について

学術国際委員会

〔第5回〕

- ・日時 平成 17 年 7 月 22 日(金)
- (持ち回り議決日)
- 議題 1 . 長岡技術科学大学とトムスクポリテクニック大学(ロシア)との学術交流に関する協定について

〔第6回〕

- ・日時 平成 17 年 7 月 28 日(木) 10 時
- 議題 1 . 長岡技術科学大学とセインズマレーシア大学(マレーシア)との学術交流に関する協定及び学生交流に関する覚書について
- 2 . 長岡技術科学大学とマヒドン大学(タイ)との学術交流に関する協定について
- 3 . 中国内陸部人材育成事業研修員の受入れについて
- 4 . 国際交流経費(寄附金)の配分方法について
- 5 . 国立大学法人長岡技術科学大学国際交流に係る学生の滞在費・渡航費補助に関する要項について
- 6 . 国立大学法人長岡技術科学大学国際交流に係る学生の滞在費・渡航費補助の支給方法に関する取扱いについて
- 7 . 学術交流協定延長時の担当教員交代の取扱いについて

〔第7回〕

- ・日時 平成 17 年 8 月 18 日(木)
- (持ち回り議決日)
- 議題 1 . 長岡技術科学大学とラジャマンカラ工科大学(タイ)との学生交流に関する覚書について

〔第8回〕

- ・日時 平成 17 年 9 月 12 日(月)
- (持ち回り議決日)
- 議題 1 . 長岡技術科学大学とコンケーン大学(タイ)との学生交流に関する覚書について

第2回ハノイ工科大学とのツイニング・プログラム推進室会議

- ・日時 平成 17 年 8 月 26 日(金)
- (持ち回り議決日)
- 議題 1 . ヴィエトナムハノイ工科大学とのツイニング・プログラムに係る日本語教師の選考について

第1回防火対策委員会

- ・日時 平成 17 年 7 月 20 日(水) 15 時 55 分
- 議題 1 . 防災訓練(総合訓練)の実施について

第3回技術開発センター運営委員会

- ・日時 平成17年7月25日(月) 16時30分
- 議題 1. 技術開発センタープロジェクトの期間延長について
2. 技術開発センタープロジェクト申請について

第2回産学官連携・知的財産本部連絡調整会議

- ・日時 平成17年9月1日(木) 10時30分
- 議題 1. 企業等からの特許に関する技術情報問合せ・相談への対応について

第1回工作センター運営委員会

- ・日時 平成17年7月28日(木) 11時30分
- 議題 1. 平成16年度工作センター運営費決算について
2. 平成17年度工作センター運営費予算(案)について
3. 平成17年度工作センター事業計画について
4. 設備費等の要求について
5. 職員の研修について

第1回極限エネルギー密度工学研究センター運営委員会

- ・日時 平成17年7月28日(木) 16時00分
- 議題 1. 平成16年度極限エネルギー密度工学研究センター運営費決算について
2. 平成17年度極限エネルギー密度工学研究センター運営費予算(案)について
3. 極限エネルギー密度工学研究センター研究機関研究員(非常勤研究員)の選考について

教務委員会

〔第4回〕

- ・日時 平成17年7月4日(月) 13時30分
- 議題 1. 学位論文審査付託に係る審査委員の指名について
2. 大学院学生の研究指導の委託について
3. 学術交流協定に基づく学生の派遣・受入れについて
4. 研究生の選考について

- 5. 科目等履修生の選考について
- 6. 平成17年度非常勤講師による授業実施計画について
- 7. 第1学期開講科目の成績報告について

〔第5回〕

- ・日時 平成17年8月8日(月) 15時00分
- 議題 1. 大学院修了者(8月修了者)の認定について
2. 論文博士の学位授与について
3. 平成17年度第1学年入学者の課程配属決定について
4. 大学院学生の研究指導の委託について
5. 研究生の選考について
6. 技術開発センター非常勤講師について
7. 学籍番号の付番方法の改定について
8. 試験における学生の不正行為について
9. 学術交流協定に基づく学生の受入れについて

〔第6回〕

- ・日時 平成17年9月2日(金) 13時30分
- 議題 1. 学部卒業生(9月卒業生)の認定について
2. 大学院修了者(9月修了者)の認定について
3. 論文博士の学位授与について
4. 大学院学生の指導教員の決定等について
5. 平成17年度非常勤講師による授業実施計画について
6. eラーニング研究実践センター非常勤講師について
7. 学術交流協定に基づく学生の受入れについて
8. 学生の除籍について

教務委員会教養教育等専門部会

〔第3回〕

- ・日時 平成17年8月2日(火) 10時30分
- 議題 1. 教養教育をめぐる基礎的参考資料
2. 平成17年度各コアの活動方針の進捗状況報告
3. 課程配属に関する学生アンケート

- について
4. 来年度の予算確保に関する基本方針について

〔第4回〕

- ・日時 平成17年9月20日(水) 14時40分
議題 1. 大学院共通科目による教育理念の再構成、科目大系の再編並びにそれに沿った計画・経営科目、一般共通科目の見直しについて
2. 学部科目の充実、変更について
3. 来年度大学運営に関わる大学執行部への要請について
4. 学部1年次の課程配属についての学生アンケート実施結果について

教務委員会教育課程専門部会

〔第2回〕

- ・日時 平成17年8月1日(月) 10時30分
議題 1. 平成18年度教育課程の編成について
2. 平成18年度授業時間割表の作成について
3. 平成18年度非常勤講師による授業実施計画について
4. 学部学生の大学院科目の履修について

〔第3回〕

- ・日時 平成17年9月29日(木) 13時30分
議題 1. 平成18年度授業時間割表の作成について
2. ティーチング・アシスタント実施計画について
3. 授業科目担当の各系分担について
4. 学部学生の大学院科目の受講について

第3回実務訓練委員会

- ・日時 平成17年9月26日(月) 16時30分
議題 1. 平成17年度実務訓練学生の派遣について
2. 実務訓練派遣教員に係る国内旅費の配分について
3. 平成18年度実務訓練シンポジウムについて
4. 実務訓練に関するアンケート(社

- 会人)について
5. 学年始めにおける対象学生への海外実務訓練アナウンスについて

第4回学生委員会

- ・日時 平成17年8月3日(水) 13時30分
議題 1. 学生の処分について

第1回体育・保健センター運営委員会

- 日時 平成17年9月28日(水) 16時30分
議題 1. 平成17年度体育・保健センター年間行事等予定及び予算
2. 平成18年度定期健康診断の日程について

留学生委員会

〔第3回〕

- ・日時 平成17年8月10日(水) 10時
議題 1. 国際交流会館等の入居者選考について
2. 社会人留学生特別コース(国費・修士)の見直しについて
3. 9月入学者の受入れ事務について
4. 留学生への布団の提供について

〔第4回〕

- ・日時 平成17年9月30日(金) 10時
議題 1. 国際交流会館等入居者選考について
2. 私費外国人留学生の奨学金選考について
3. 留学生アンケートの活かし方について
4. 18年度社会人留学生特別コース選考の実施方法について

入学試験委員会

〔第5回〕

- ・日時 平成17年7月20日(水) 10時30分
議題 1. 平成17年度大学院工学研究科修士課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
2. 平成17年度大学院工学研究科博士後期課程9月入学者選抜試験合格者の選考について
3. 平成18年度第3学年(学力選抜)入学者選抜試験合格者の選考について

4. 平成 18 年度大学院工学研究科修士課程（高専専攻科修了見込者推薦選抜）入学者選抜試験合格者の選考について

5. 平成 18 年度第 1 学年（推薦入学）学生募集要項（案）について

〔第 6 回〕

・日時 平成 17 年 8 月 24 日(水) 10 時 30 分
議題 1. 平成 17 年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考（9 月・第 2 次選考）について

2. 平成 18 年度第 1 学年入学者選抜評価要領（案）について

3. 入学者選抜試験試験問題等作成要領（案）について

4. 平成 18 年度第 1 学年（推薦）入学者選抜試験小論文出題委員の決定について

5. 平成 19 年度第 3 学年入学者選抜試験の実施方法について

6. 社会人留学生特別コースの見直しについて

7. 2007 大学案内の作成について

〔第 7 回〕

・日時 平成 17 年 9 月 13 日(火) 10 時 30 分
議題 1. 平成 18 年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜試験合格者の選考について

2. 平成 18 年度大学院工学研究科博士後期課程進学者の選考（第 1 次選考）について

3. 平成 18 年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜試験（第 1 次選考）合格者の選考について

4. 平成 18 年度大使館推薦による国費外国人留学生の選考について

5. 平成 18 年度第 1 学年学生募集要項（案）について

6. 平成 18 年度大学院工学研究科（社会人留学生コース）募集要項（案）について

7. 平成 18 年度大学院工学研究科修士課程及び博士後期課程入学者選抜試験日程（9 月）(案)について

8. 修士課程入学者選抜試験日程について

入学者選抜方法研究委員会

〔第 3 回〕

・日時 平成 17 年 7 月 25 日(月) 17 時
議題 1. オープンキャンパスについて

〔第 4 回〕

・日時 平成 17 年 8 月 30 日(火) 9 時 30 分
議題 1. オープンキャンパスの参加状況及びアンケート結果について

2. 平成 17 年度入学者選抜方法研究委員会における検討事項について

第 2 回附属図書館運営委員会

・日時 平成 17 年 7 月 27 日(水) 13 時

議題 1. 学術雑誌共通経費による購読雑誌の選定について

2. インターンシップ派遣学生の受入れについて

3. 平成 17 年度高専及び技科大図書館シンポジウムについて

4. 技大祭における図書館公開について

5. 今後の高専機構との連携について

学 事

博士(工学)の学位授与

大学院工学研究科博士課程修了によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博甲第 346 号	池竹 英人	平成 17 年 8 月 31 日	残留塩素の電気化学的検出に関する研究
博甲第 347 号	Tran Thi Thu Hien	平成 17 年 8 月 31 日	Commercial Silicon Nitride Powder Surfaces Analyzed by Diffuse Reflectance Infrared Fourier Transform (DRIFT) Spectroscopy and X-ray Photoelectron Spectroscopy(XPS) (市販窒化ケイ素粉末表面の拡散反射フーリエ変換赤外線分光(DRIFT)と X 線光電子分光(XPS)による解析)
博甲第 348 号	Sittidej Teekateerawej	平成 17 年 8 月 31 日	Fabrication and Evaluation of Photocatalytic Micro-channel Reactors(マイクロチャンネル構造をもつ光触媒リアクターの作製と評価)
博甲第 349 号	Makbul Anwari	平成 17 年 8 月 31 日	Performance Analysis of an MHD Accelerator for Space Application(宇宙推進用 MHD 加速器の性能解析)
博甲第 350 号	Dikky Burhan	平成 17 年 9 月 30 日	Study on In Situ Evaluation of Molten Metals Using High Temperature Ultrasonic Waveguide Sensors (高温超音波導波棒センサーによる熔融金属のその場評価に関する研究)

論文提出によるもの

学位記番号	氏 名	学位授与の日付	論 文 題 目
博乙第 241 号	木下 郁一郎	平成 17 年 8 月 24 日	スピーカ・ヘッドホン併用型音響再生法に関する研究
博乙第 242 号	吉田 昌弘	平成 17 年 9 月 14 日	ファインセラミックス部品光学式非接触自動欠陥検出法に関する研究
博乙第 243 号	三浦 崇	平成 17 年 9 月 14 日	動物における遊離 D - アミノ酸の由来とその代謝・機能に関する研究

平成18年度第1学年学生募集の概要

募集人員

学部	課程名	入学定員	募集人員				
			一般選抜	推薦入学		帰国子女特別選抜	私費外国人留学生特別選抜
			前期日程	専門高校・総合学科	左記以外の高等学校		
工学部	機械創造工学課程	80人	40人	7人	若干人	若干人	若干人
	電気電子情報工学課程			7人			
	材料開発工学課程			5人			
	建設工学課程			5人			
	環境システム工学課程			5人			
	生物機能工学課程			5人			
	経営情報システム工学課程			5人			
計	80人	40人	40人	若干人	若干人		

(注) 推薦入学欄の「左記以外の高等学校」には、中等教育学校の後期課程を含む。

(以下同じ)

入学者の選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

1 一般選抜

(1) 入学者の選抜は、「前期日程」のみで実施し、課程を区別せず一括して入学者を募集します。

(2) 選抜の方法は、「大学入試センター試験」及び本学が実施する「個別学力検査」の総合点により行います。

また、出身学校長から提出された「調査書又は成績証明書」は選抜の基礎資料とします。

(3) その他選抜方法等の詳細は、別表1及び別表2を参照してください。

(4) 所属課程の決定は、入学後、第1学年の第2学期に行います。

2 推薦入学

(1) 選抜方法等の詳細は、別表3及び別表4を参照してください。

(2) 専門高校及び高等学校の総合学科以外からの入学者の所属課程の決定は、入学後、第1学年の第2学期に行います。

3 帰国子女特別選抜

選抜方法等の詳細は、別表3及び別表5を参照してください。

4 私費外国人特別選抜

選抜方法等の詳細は、別表3及び別表6を参照してください。

身体に障害を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害(別表参照)があり、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮が必要な場合は、あらかじめ本学入学試験係に申し出てください。申し出に基づき、特別な措置が必要となる場合には、申請書(様式任意)に健康診断書等必要書類を添付し、下記の期日までに提出してください。

・推薦入学

平成17年10月14日(金)

・一般選抜、帰国子女特別選抜、私費外国人留学生特別選抜

平成18年1月27日(金)

なお、特に必要な場合は、本学において、志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

また、例に示すような障害で、特別な措置を希望する場合は、上記の期日以降でも申し出を受け付けることがあります。

(例)

1. 点字による出題を要しない程度の障害
2. 補聴器の使用により、聴き取りに支障のない程度の障害
3. 車いす等の使用により、移動に支障のない程度の障害

なお、申し出の内容によっては、本学の試験日までに対応できず、特別な措置が講じられないこともあります。

日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車いす等を使用して受験する場合も申し出てください。

別表

区 分	身 体 障 害 の 程 度
盲 者 (強度の弱視者を含む。)	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
ろう 聾 者 (強度の難聴者を含む。)	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由 者	1 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者 (身体虚弱者を含む。)	1 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

別表1

平成18年度 長岡技術科学大学 入学者選抜方法等（一般選抜、専門高校・総合学科卒業生選抜、アドミッション・オフィス入試）

学部・学科名	選抜方法等	個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生選抜					アドミッション・オフィス入試	個別学力検査等の日程	備考 欠員の 補充の 方法等	
		実技検査等				2段階選抜			実技検査等								
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う				小論文を課する
工学部	前期日程		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	-	x	平成18年 2月25日	追加合格
機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 材料開発工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程 生物機能工学課程 経営情報システム工学課程	後期日程	実施しない															

注： は該当することを、xは該当しないことを示す。

別表2

平成18年度 長岡技術科学大学 入学者選抜における実施教科・科目等について

【前期日程】

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成17年度〕 志願倍率	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等						特別の選 抜方法等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語		配点 合計
工学部	前期日程	国	国（近代以降の文章）	数	数・数・数 1	センター 試験	100	100	200	200	200	800	推 薦
機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 材料開発工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程 生物機能工学課程 経営情報システム工学課程	2月25日	地歴	世A,世B,日A, 日B,地A,地B の6科目	理	物・物 2、 化・化 3、 生・生 4 の3科目	個 別 学 力 検 査	-	-	150	150	-	300	帰国子女 外国人 追加合格
入学定員 80人		公民	現社,倫理, 政・経の3科目			計	100	100	350	350	200	1100	
募集人員 前期日程 40人 その他 40人		数	（数・数A）と（数・数B、工、簿、情報の4科目から1科目）の計2科目	理	物、化、生 の3科目から2科目*								
〔志願倍率 3.7倍〕		外	英、独、仏、中、韓の5科目から1科目 （6教科7科目）		（2教科2科目）								

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- （注1） 地歴・公民から2科目を受験している場合は、高得点の1科目の成績を利用します。また、理科の3科目を受験している場合は、高得点の2科目の成績を利用します。
- （注2） 「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- （注3） 実施教科・科目等は、文部科学省が公表した「平成18年度大学入学者選抜に係る大学入試センター試験実施大綱」によります。
- （注4） *印を付してある選択科目のうち、機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程を志望する者は、「物理」を選択することが望ましい。

【個別学力検査等】欄

- （注5） 1印を付してある科目「数」、は、新教育課程と旧教育課程の共通の範囲から出題します。
- 2印を付してある科目「物理」のうち、「原子、電子と物質の性質」及び「原子と原子核」は出題範囲から除きます。
- 3印を付してある科目「化学」のうち、「生活と物質」及び「生命と物質」を出題する場合は、いずれかを選択して解答できるよう出題します。
- 4印を付してある科目「生物」のうち、「生物の分類と進化」及び「生物の集団」を出題する場合は、いずれかを選択して解答できるよう出題します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- （注6） 外国語「英語」は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を200点満点に換算します。

別表3

平成18年度 長岡技術科学大学 入学者選抜方法等（特別選抜）

学部・学科名	選抜方法等		推薦入学					推薦入学 募集人員	帰国子女・社会人等 のための特別選抜				備考
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する		実技検査等						帰国子女	私費外国人留学生	中国引揚者等子女	社会人	
	個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他						
工学部 機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 材料開発工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程 生物機能工学課程 経営情報システム工学課程	×		×			×	×	40人			×	×	専門高校・総合学科対象の募集人員は、機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程は7人、その他の課程は各5人とする。 上記以外の高等学校の募集人員は、課程を区別せず一括して若干人とする。

注： は該当することを、×は該当しないことを示す。

別表 4

平成18年度 特別選抜方法（推薦入学）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	40人 専門高校・総合学科対象：機械創造工学課程及び電気電子情報工学課程は各7人、その他の課程は各5人 上記以外の高等学校対象：全課程で若干人		
出願要件	<p>次の1又は2に該当する者で、技術や科学に強い関心を持ち、自ら積極的に学習や研究に取り組む意欲があり、人物、学力ともに優秀で出身学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>1．専門高校・総合学科対象 次の各号のいずれかに該当する者 平成18年3月高等学校の「工業に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、工業に関する教科・科目を20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者 平成18年3月高等学校の「農業に関する学科」または「水産に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、農業及び水産に関する教科・科目のいずれか、または、工業、農業及び水産に関する教科・科目合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者 平成18年3月高等学校の「商業に関する学科」の卒業見込み者及び「総合学科」の卒業見込み者で、商業に関する教科・科目を20単位以上、または工業及び商業に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者</p> <p>1 に該当する者が志望できる課程は、「材料開発工学課程」または「生物機能工学課程」とする。 2 に該当する者が志望できる課程は、「経営情報システム工学課程」とする。</p> <p>2．上記以外の高等学校対象 次の各号に該当する者 平成18年3月高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業見込みの者（平成17年度中に高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者を含む。） 出身学校において、数学 及び理科（物理、化学、生物のうち1科目以上）を履修している者</p>		
選抜方法等	出身学校長から提出された推薦書、調査書、本学が実施する小論文、面接の各結果を総合して行う。		
出願期間	平成17年11月1日（火）～平成17年11月4日（金）		
選抜期日	平成17年11月16日（水）		
合格発表日	平成17年12月8日（木）		
その他	<p>1．学校長が責任をもって推薦できる者であれば人員に制限はない。 ただし、合格した場合には入学の確約ができる者とする。</p> <p>2．学習成績概評Aに属する生徒のうち人物、学力ともに特に優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者については、調査書「学習成績概評」欄にA標示を希望する。 なお、この場合には、調査書「備考」欄にその理由を具体的に明示すること。</p> <p>3．平成18年度大学入試センター試験は課さない。</p> <p>4．同一人を他の国公立大学と重複して推薦できない。</p> <p>5．出願資格及び推薦の要件等で不明な点がある場合は、事前に問い合わせること。</p>		

別表 5

平成18年度 特別選抜方法（帰国子女）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	若干人		
出願要件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、次のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成 16 年（2004 年）4 月 1 日から平成 18 年（2006 年）3 月 31 日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、外国において、最終学年を含め 2 年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者。 ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなさない。 2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を平成 16 年又は平成 17 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 18 年 3 月 31 日までに達する者 3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成 16 年又は平成 17 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 18 年 3 月 31 日までに達する者 4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成 16 年又は平成 17 年に授与された者で、18 歳に達した者及び平成 18 年 3 月 31 日までに達する者 		
選抜方法等	<p>出願書類並びに本学が実施する個別学力検査（数学及び理科）及び面接の各結果を総合して行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学〔数 ・数 ・数 〕 ・理科〔物 ・物 、化 ・化 、生 ・生 の3科目から1科目選択〕 		
出願期間	平成18年1月30日（月）～平成18年2月7日（火）		
選抜期日	平成18年2月25日（土）		
合格発表日	平成18年3月7日（火）		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成18年度大学入試センター試験は課さない。 2. 海外在住者については、出願時に健康診断書を提出すること。 なお、健康診断書は選抜には使用しない。 		

別表 6

平成18年度 特別選抜方法（私費外国人留学生）

長岡技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械創造工学課程 材料開発工学課程 環境システム工学課程 経営情報システム工学課程	電気電子情報工学課程 建設工学課程 生物機能工学課程
募集人員	若干人		
出願要件	<p>日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成17年度日本留学試験（第1回または第2回。出題教科は、日本語、数学〔コース2〕、理科〔2科目自由選択〕の3教科4科目。）を受験している者のうち、次のいずれかに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成18年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。 2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。 3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。 4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、18歳に達した者及び平成18年3月31日までに達する者。 <p>なお、上記1から4のいずれの場合においても、「出入国管理及び難民認定法」において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は大学入学後に当該資格を取得可能な者であることが必要。</p>		
選抜方法等	<p>出願書類、日本留学試験の成績並びに本学が実施する個別学力検査（英語、数学、理科）及び面接の各結果を総合して行う。</p> <p>【個別学力検査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語 ・数学〔数 ・数 ・数 〕 ・理科〔物 ・物 、化 ・化 、生 ・生 の3科目〕 		
出願期間	平成18年1月30日（月）～平成18年2月7日（火）		
選抜期日	平成18年2月25日（土）		
合格発表日	平成18年3月7日（火）		
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成18年度大学入試センター試験は課さない。 2. 海外在住者については、出願時に健康診断書を提出すること。 なお、健康診断書は選抜には使用しない。 		

第1学年学生募集要項（推薦選抜）（概要）

1 入学定員及び募集人員

学部	課程	入学定員	募集人員	
			専門高校・総合学科	左記以外の高等学校
工学部	機械創造工学課程	15人	7人	若干人
	電気電子情報工学課程	15人	7人	
	材料開発工学課程	10人	5人	
	建設工学課程	10人	5人	
	環境システム工学課程	10人	5人	
	生物機能工学課程	10人	5人	
	経営情報システム工学課程	10人	5人	
計	80人	40人		

2 出願資格及び推薦の要件

課程	機械創造工学課程 電気電子情報工学課程 建設工学課程 環境システム工学課程	材料開発工学課程 生物機能工学課程	経営情報システム工学課程
出願資格	平成18年3月高等学校の「工業に関する学科」の卒業見込みの者。		
	平成18年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込みの者で工業に関する教科・科目20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。		
		平成18年3月高等学校の「農業に関する学科」、又は「水産に関する学科」の卒業見込みの者。	平成18年3月高等学校の「商業に関する学科」の卒業見込みの者。
		平成18年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込みの者で農業及び水産に関する教科・科目のいずれか20単位以上、又は工業、農業及び水産に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。	平成18年3月高等学校の「総合学科」の卒業見込みの者で商業に関する教科・科目を20単位以上、又は工業及び商業に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。
	上記～を除く平成18年3月高等学校又は中等教育学校の後期課程の卒業見込みの者（平成17年度中に高等学校又は中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者を含む。）で、出身学校において、数学及び理科（物理、化学、生物のうち1科目以上）を履修している者 課程を区別せず一括して入学者を募集します。		
推薦の要件	1 上記～の者で、人物、学力ともに優秀で、志望する課程への能力、適性等について出身学校長が責任をもって推薦できる者としします。		
	2 推薦できる人員に制限はありません。 ただし、合格した場合に入学の確約ができる者としします。		
	3 平成18年度大学入試センター試験の受験は必要ありません。		
	4 同一人を他の国公立大学と重複して推薦できません。		

3 志望課程の選定（出願資格 ~ の者のみ）

(1) 第1志望の課程

入学志願者は、前記「2 出願資格及び推薦の要件」に示す課程から、志望する1課程を選んでください。

(2) 第2志望の課程

第2志望として選ぶことができる課程は、次のとおりです。

「工業に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち工業に関する教科・科目20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第1志望の課程以外のすべての課程から1課程を選ぶことができます。

「農業に関する学科」又は「水産に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち農業及び水産に関する教科・科目のいずれか20単位以上、又は工業、農業及び水産に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第1志望の課程以外の材料開発工学課程又は生物機能工学課程を選ぶことができます。

「商業に関する学科」卒業見込み者。「総合学科」卒業見込み者のうち商業に関する教科・科目を20単位以上、又は工業及び商業に関する教科・科目を合わせて20単位以上修得（「情報に関する基礎的科目」及び「課題研究」の単位を含む）見込みの者。

第2志望を選ぶことはできません。

4 出願手続

(1) 願書受付期間

平成17年11月1日（火）～平成17年11月4日（金）（期間内必着）

（注）願書は、受付期間内に必ず届くよう、余裕をもって書留・速達郵便にて発送してください。

持参の場合、受付時間は、9：00～17：00です。（祝日は除きます。）

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
1 入学志願票	必要事項を本人が記入してください。
2 写真票・受験票・検定料振込済証明書貼付票	写真は、正面上半身無帽（縦40 [㍉] ×横30 [㍉] ）で出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄にはり付けてください。
3 検定料 （本学所定の検定料振込依頼書により振込）	17,000円 本学所定の検定料振込依頼書で金融機関（郵便局を除く。）に振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置にはり付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 検定料の納入は金融機関（郵便局を除く。）の受付窓口での振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 検定料の納入は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。
4 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。 （注）出身学校長は、学習成績概評Aに属する生徒のうち人物、学力ともに特に優秀で、出身学校長が責任をもって推薦できる者については、「学習成績概評」欄にAと標示してください。 なお、この場合には、「備考」欄にその理由を具体的に明示してください。
5 推薦書	本学所定の用紙により、出身学校長が作成してください（ワープロソフト等による印字可）。
6 志望調書	本学所定の用紙により、本人が記入してください。
7 あて名票（本人住所）	合格・その他通知に使用しますので、4か所すべてに所要事項を記入してください。
8 返信用封筒	本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、350円分の切手をはり付けてください。受験票等の送付に使用します。

(3) 出願書類の提出等

出願書類等は、本学所定の「送り状」を用い、出身学校でとりまとめのうえ、提出してください。

(注1) 複数の被推薦者がある場合は、1志願者ごとに本学所定の出願用封筒に入れ、それを一括して出身学校の封筒に入れて、「推薦選抜」と朱書き、書留・速達で送付してください。

(注2) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、提出された出願書類の記載事項の変更は、認めません。

ただし、現住所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注3) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。

検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

5 選抜の方法

出身学校長から提出された推薦書、調査書及び本学が実施する小論文、面接の各結果を総合して行います。

なお、「小論文」、「面接」とも、受験しなければ失格となります。

(1) 小論文

出題の意図を理解しているか、文章が論理的に構成されているか等を評価します。

課題は、当日指定します。

(2) 面接

個人面接を行い、人物・適性をみます。(高等学校における教科に関する試問を行うことがあります。)

(3) 配点

選 抜 区 分	科目名	推薦書・調査書	小論文	面 接	計
専門高校・総合学科	配 点	60点	60点	180点	300点
上記以外の高等学校	配 点	100点	100点	100点	300点

6 選抜試験の日時及び場所

期 日	区 分	時 間	場 所
平成17年11月16日(水)	小 論 文	10:00~11:00	長岡技術科学大学
	面 接	12:30~	

7 合格者の発表等

(1) 合格者の発表

平成17年12月8日(木) 午前10時

本学を受験番号を掲示するとともに、出身学校長あて合否を文書で通知し、併せて合格者には、「合格通知書」を送付します。(電話等による合否の照会には、一切応じません。)

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。

長岡技術科学大学のホームページアドレスは、<http://www.nagaokaut.ac.jp/>です。

(2) 入学確約書の提出

合格者は、長岡技術科学大学長あてに出身学校長を経由して、平成17年12月21日(水)(必着)までに提出してください。

平成 18 年度第 3 学年入学者選抜状況

1 課程別

課 程	入学定員	募集人員		志願者	受験者	合格者	
機械創造工学課程	75	推	37	推	52 (3)	52 (3)	51 (3)
		学	38	学	103 (1)	79 (1)	66 (1)
電気電子情報工学課程	75	推	37	推	60 (2)	60 (2)	58 (2)
		学	38	学	137 (5)	96 (2)	59 (1)
材料開発工学課程	30	推	15	推	10 (2)	10 (2)	10 (2)
		学	15	学	45 (6)	28 (4)	35 (4)
建設工学課程	30	推	15	推	16 (1)	16 (1)	16 (1)
		学	15	学	32 (3)	23 (3)	21 (2)
環境システム工学課程	40	推	20	推	23 (4)	23 (4)	22 (4)
		学	20	学	45 (5)	34 (4)	33 (4)
生物機能工学課程	40	推	20	推	8 (3)	8 (3)	8 (3)
		学	20	学	38 (8)	29 (4)	35 (4)
経営情報システム工学課程	20	推	10	推	6 (1)	6 (1)	6 (1)
		学	10	学	33 (3)	29 (3)	26 (2)
合 計	310	推	154	推	175 (16)	175 (16)	171 (16)
		学	156	学	433 (31)	318 (21)	275 (18)
		計	310	計	608 (47)	493 (37)	446 (34)
倍 率 (対定員)				推	1.14	1.14	
				学	2.78	2.04	

[平成17年度： 推 1.18 1.18
学 2.33 1.92]

- *1 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *2 機械創造工学課程からの第2志望合格者4名、電気電子情報工学課程からの第2志望合格者5名を含む。
- *3 環境システム工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *4 機械創造工学課程からの第2志望合格者2名、電気電子情報工学課程からの第2志望合格者2名を含む。
- *5 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者3名、材料開発工学課程からの第2志望合格者2名、経営情報システム工学課程からの第2志望合格者1名を含む。
- *6 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。

1 - (1) 出身校種別調

校 種 別		志願者	受験者	合格者
高等専門学校	推	175 (16)	175 (16)	171 (16)
	学	425 (31)	311 (21)	272 (18)
大 学	学	1	1	1
短 期 大 学	学	6	5	2
専 修 学 校	学	1	1	0
そ の 他	学	0		
合 計		608 (47)	493 (37)	446 (34)

() は女子を内数で示す。

1 - (2) 現役・浪人別調

区 分		志願者	受験者	合格者
卒業見込者	推	175 (16)	175 (16)	171 (16)
	学	426 (31)	313 (21)	271 (18)
16.3 卒業者	学	5	4	3
15.3 卒業者	学			
14.3 卒業者	学	1	1	1
13.3 以前卒業者	学	1		
合 計		608 (47)	493 (37)	446 (34)

1 - (3) 県内・県外別調

区 分		志願者	受験者	合格者
県内出身者	推	11	11	11
	学	82 (5)	63 (3)	56 (3)
県外出身者	推	164 (16)	164 (16)	160 (16)
	学	351 (26)	255 (18)	219 (15)
合 計		608 (47)	493 (37)	446 (34)

2 外国人留学生

課 程		志願者	受験者	合格者
機械創造工学課程	推	2	2	1
	学	2	2	3
電気電子情報工学課程	推	2	2	2
	学	10 (2)	6 (1)	3
材料開発工学課程	推			
	学	1	1	1
建設工学課程	推	1	1	2
	学	2	2	2
環境システム工学課程	推			
	学			
生物機能工学課程	推			
	学	3 (2)	2 (1)	2 (1)
経営情報システム工学課程	推	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	学	7 (2)	4 (1)	3 (1)
合 計	推	7 (1)	7 (1)	7 (1)
	学	25 (6)	17 (3)	14 (2)
	計	32 (7)	24 (4)	21 (3)

*7 電気電子情報工学課程からの第2志望合格者1名を含む。

*8 機械創造工学課程からの第2志望合格者1名を含む。

*9 受験者数に失格者1名を含む。

2 - (1) 出身校種別調 (外国人留学生)

		志願者	受験者	合格者
高等専門学校	推	7 (1)	7 (1)	7 (1)
	学	16 (6)	10 (3)	9 (2)
大 学	学	1	1	
短 期 大 学	学			
専 修 学 校	学	8	6	5
そ の 他	学			
合 計		32 (7)	24 (4)	21 (3)

平成 18 年度大学院工学研究科修士課程入学者選抜状況 (第 1 次募集)

専 攻	募集 人員	学内選抜			一般選抜			社会人特別選抜			外国人留学生特別選抜			高等専門学校専攻科 修了見込者推薦選抜			合格者 合 計
		志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者	
機械創造工学専攻	97	68	68	68	10 (7)	10 (7)	7 (5)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	1 (1)	1 (1)		8 (8)	8 (8)	8 (8)	86 (16)
					<1>	<1>											
電気電子情報工学専攻	98	77	77	77	15 (8)	15 (8)	13 (6)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1	1	1	3 (3)	3 (3)	3 (3)	94 (10)
材料開発工学専攻	47	40	40	40	1	1	1										41
建設工学専攻	40	3	3	3													3
		25	25	25	6 (2)	6 (2)	5 (2)							2 (2)	2 (2)	2 (2)	32 (4)
環境システム工学専攻	50	1	1	1													1
		31	31	31	11 (4)	11 (4)	11 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)				5 (5)	5 (5)	5 (5)	48 (10)
生物機能工学専攻	50	1	1	1													1
		29	29	29	3 (1)	3 (1)	3 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)							33 (2)
経営情報システム工学専攻	30										1 (1)	1 (1)	1 (1)				1 (1)
		21	21	21	5 (1)	5 (1)	5 (1)										26 (1)
計	412	5	5	5							3 (2)	3 (2)	2 (1)				7 (1)
		291	291	291	51 (23)	51 (23)	45 (19)	6 (6)	6 (6)	6 (6)				18 (18)	18 (18)	18 (18)	360 (43)
					<1>	<1>											

(注) 上段は、外国人留学生を外数で示す。()は、他大学等の出身者、< >は、本学過年度卒業者を内数で示す。

平成 18 年度大学院工学研究科博士後期課程入学者選抜状況（第 1 次募集）

専攻	募集 人員	学内進学			一般選抜 (外国人留学生を含む)			社会人特別選抜			進学 内定者	合格者
		志願者	辞退者	内定者	志願者	受験者	合格者	志願者	受験者	合格者		
情報・制御工学専攻	16	2		2	1 (1)	1 (1)	1 (1)				2	1 (1)
		6		6							6	
材料工学専攻	8	1		1							1	
		3		3							3	
エネルギー・環境工学 専攻	6											
		8		8	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	8	2 <2>
計	30	3		3	1 (1)	1 (1)	1 (1)				3	1 (1)
		17		17	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	1 <1>	17	2 <2>

注 1 上段は外国人留学生を外数で示す。

注 2 内は、修士修了見込者数を内数で示す。（学内進学者を除く。）

注 2 ()内は、他大学大学院等出身者数を内数で示す。

注 3 < >は過年度卒業生数を内数で示す。

諸 報

受賞関係

賞等の名称及び受賞年月日	彰者団体名	被表彰者名	受賞の対象となった研究題目等
日本接着学会第 43 回年次大会ベストポスター賞 平成 17 年 6 月 23 日	日本接着学会	電気系・助教授 河合晃	微細探針のインデンテーション法による高分子パターンの表面硬化層の解析
社団法人日本コンクリート工学協会創立 40 周年記念功労賞 平成 17 年 7 月 12 日	(社)日本コンクリート工学協会	理事・丸山久一	長年に亘る協会の諸事業並びにコンクリート工学の発展への多大なる貢献
日本雪工学会上信越支部第 7 回支部表彰学術賞 平成 17 年 8 月 5 日	日本雪工学会上信越支部	生物系・教授 宮内信之助	自己温度抑制型面状発熱体をはじめとする発熱体の開発と積雪・寒冷地域への応用
教育システム情報学会 30 周年記念事業「ICT を利用した優秀教育実践コンテスト」優秀賞(技術) 平成 17 年 8 月 26 日	教育システム情報学会	経営情報系・助教授 植野真臣	ILMS"SAMURAI"の開発と e-Learning 実践
サマーセミナー2005 優秀発表賞 平成 17 年 8 月 30 日	精密工学会画像応用技術専門委員会・映像情報メディア学会メディア工学研究委員会 サマーセミナー2005 合同企画委員会	電気系・助教授 岩橋政宏, 電気系・助手 タンスリヤボン スリヨン	一人暮らしの老人に適用したプライバシー・コンシャス・ビデオ介護支援システムの開発
有機電気化学研究会第 1 回有機電気化学奨励賞 平成 17 年 9 月 8 日	(社)電気化学会有機電気化学研究会	化学系・助教授 前川博史	実践的有機合成を指向した新しい有機電極反応の開発
平成 16 年度日本機械学会機械材料・材料加工部門部門賞(功績賞) 平成 17 年 9 月 20 日	(社)日本機械学会機械材料・材料加工部門	機械系・教授 武藤睦治	永年にわたる部門活動の活性化および部門の発展への貢献
社団法人日本セラミックス協会第 18 回秋季シンポジウムフォトセラミックス: 光が関わるセラミックスの特定セッション若手優秀発表賞(口頭発表の部) 平成 17 年 9 月 27 日	(社)日本セラミックス協会第 18 回秋季シンポジウム	学務課・教務職員 黒木雄一郎	Cu ₂ AiS ₂ 粉末からの自由励起子および束縛励起子発光

叙位、叙勲

平成 17 年 8 月 3 日に逝去された本学名誉教授故小川正二氏に対して、正四位瑞宝中綬章が授与された。

永年勤続者表彰

平成 17 年 8 月 31 日付けで退職した次の者に対して、表彰状と記念品が授与された。(敬称略)

学務部学術情報課課長 渡邊守
学務部学務課専門員 横山昭

AED(自動体外式除細動器)講習会

・日時 平成 17 年 7 月 29 日(金) 15 時
内容 AEDを使用した心肺蘇生法
参加者 12 名

安全衛生管理に関する講演会

・日時 平成 17 年 9 月 21 日(水) 13 時 30 分
場所 総合研究棟会議室
演題 「リスクアセスメント概説」
講師 機械系 蓬原弘一教授
参加者 13 名

公開講演会(地域復活・人間復活講座)

・日時 平成 17 年 7 月 14 日(木) 15 時

場所 マルチメディアシステムセンター
演題 「私達は地域で今何をすべきか」
講師 平山征夫特任教授

平成 17 年度 長岡技科大・長岡高専技術シー ズプレゼンテーション

- ・期日 平成 17 年 8 月 25 日(木)
- 時間 9 時 30 分～16 時 40 分
- 場所 A 会場 B 講義室
B 会場 マルチメディアシステムセン
ター
C 会場 総合研究棟 7 階会議室
- 参加者 118 名

(財)道央産業技術振興機構産学官連携視察 見学

- ・期日 平成 17 年 9 月 30 日(金)
- 時間 10 時～11 時 30 分
- 場所 総合研究棟 7 階会議室
技術開発センター
- 講師
N T I C 産学官連携コーディネーター
福島忠男
技術開発センター長 高田雅介
知的財産センター長 西口郁三
化学系 教授 齋藤秀俊
- 参加者 17 名

技術開発懇談会

- ・期日 平成 17 年 7 月 26 日(火)
- 時間 18 時～20 時
- 場所 ニュー大黒ビル 6 F 会議室
- テーマ 現代社会における IT 依存性の増加
と事業継続マネジメントの重要性
- 話題提供者 経営情報系 助教授 渡辺研司
- 参加者 11 名

- ・期日 平成 17 年 9 月 15 日(木)
- 時間 18 時～20 時
- 場所 ニュー大黒ビル 6 F 会議室
- テーマ 情報通信技術における符号化・暗号
化
- 話題提供者 電気系 教授 荻原春生
- 参加者 7 名

公開講座

- ・期日 平成 17 年 8 月 30 日(火)
- 時間 13 時～16 時 10 分

場所 総合研究棟 7 階会議室
テーマ 大きな事故が起こるが、それはなぜ
か。 - 国際安全規格入門 -
対象者 社会人一般
受講者 22 名

長岡技術科学大学特許実務セミナー

- ・期日 平成 17 年 9 月 30 日(金)
- 時間 13 時～15 時
- 場所 電気系電算機室 1
- 参加者 5 名

匠陵講演会

- ・日時 平成 17 年 7 月 16 日(土) 13 時
- 場所 E 講義室
- 演題 「夢を世界に広げよう」
Improvista Interactive Music, Inc
Chairman of the Board 曾我弘氏
- 聴講者 50 名
- ・日時 平成 17 年 7 月 29 日(金) 14 時 40 分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「港湾空港技術研究所の役割と最近の
津波研究の動向 スマトラ沖地震大津
波に挑む日本の最先端研究」
- 講師 (独) 港湾空港技術研究所
理事長 小和田亮氏
- 聴講者 100 名
- ・日時 平成 17 年 9 月 21 日(水) 17 時 30 分
- 場所 長岡商工会議所 2 階大ホール
- 演題 「キヤノンの経営と人事戦略」
- 講師 キヤノン(株)
専務取締役 山下征雄氏
- 聴講者 100 名

特別講演会

- ・日時 平成 17 年 7 月 14 日(木) 15 時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「ものづくり技術研究開発の現状と将
来」
- 講師 (株)日立製作所研究開発本部
技師長 中川泰夫氏
- 聴講者 80 名
- ・日時 平成 17 年 9 月 7 日(水) 14 時 40 分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「食と食材の未来を考える -GMO 開発
研究者が見た事実 -」
- 講師 北海道大学大学院農学研究科

教授 大澤勝次氏

聴講者 47名

- ・日時 平成17年9月20日(火) 9時
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 演題 「システム制御と情報科学」
- 講師 東京工業大学大学院理工学研究科
教授 藤田政之氏

聴講者 85名

現代GPフォーラム

テーマ 「リスクマネジメント」-安全・安心社会の創成に向けた行政・産業・大学の取組み-

- ・日時 平成17年8月2日(火) 13時30分
- 場所 マルチメディアシステムセンター
- 講師 情報セキュリティ大学院大学長 辻井重男氏、新潟県知事 泉田裕彦氏、eラーニング研究実践センター長 福村好美教授、機械系 蓬原弘一教授、経営情報系 渡辺研司助教授

eラーニング高等教育連携(eSAFE 関連)全体会議

「今後の連携について」等を議題に次のとおり開催した。

- ・日時 平成17年8月3日(水) 9時30分
- 場所 マルチメディアシステムセンター

技術職員研修

- ・日時 平成17年8月18日(木) 8時40分
- 場所 電気1号棟、3号棟
- 研修課題 実践的電子回路製作技術の実習
- 参加者 26名

中学校数学アカデミー

- ・日時 平成17年8月8日(月) 10時
- 場所 マルチメディアシステムセンター、セコムホール
- テーマ 熱中!感動!新ながおか夢づくり教育
- 講師 機械系・木村哲也助教授、小林泰秀助手
- 参加者 長岡市内中学校3年生19名

サイエンス・パートナーシップ・プログラム

- 「教育連携講座」(高校生対象講座:前期)
- ・日時 平成17年8月4日(木)~5日(金)

講師 電気系...島田正治教授、荻原春生教授、安井寛治助教授、正本利行助手、

化学系...野坂芳雄教授、藤原巧助教授、村上能規助手

環境・建設系...岩崎英治助教授、細山田得三助教授

生物系...野中孝昌教授、渡邊和忠教授、福本一朗教授、曾田邦嗣教授、霜田靖助手、内山尚志助手、関安孝助手

極限エネルギー密度工学研究センター...江偉華助教授、末松久幸助教授

参加者 長岡高校40名、長岡向陵高校5名、三条高校1名、国際情報高校6名、柏崎高校1名

「教育連携講座」(高校生対象講座:後期)

- ・日時 平成17年8月18日(木)~19日(金)
- 講師 機械系...井原郁夫助教授、高橋勉助教授、南口誠助教授、磯部浩己助手

電気系...小野浩司教授、石黒孝助教授、岩橋政宏助教授、齋藤和夫助手、古谷清蔵助手、Tansuriyavong Suriyon 助手

化学系...丸山一典助教授、小林高臣助教授

生物系...城所俊一助教授、内山尚志助手

経営情報系...三上喜貴教授、鈴木泉助手

マルチメディアシステムセンター...永森正仁助手

参加者 長岡高校21名、長岡大手高校2名、長岡向陵高校2名、三条高校2名、国際情報高校8名、柏崎高校43名

「教員研修」

- ・日時 平成17年8月11日(木)~12日(金)
- 講師 機械系...矢鍋重夫教授、高橋秀雄助教授

電気系...荻原春生教授、北谷英嗣助教授、岩橋政宏助教授、正本利行助手

化学系...齋藤秀俊教授、丸山一典助教授、内田希助教授、小林

高臣助教授

生物系・・・渡邊和忠教授、福本一朗教授、曾田邦嗣教授、高原美規助教授、城所俊一助教授、霜田靖助手、関安孝助手、内山尚志助手

参加者 新潟県内高校理科教員 19 名

学内就職ガイダンス

- ・日時 平成 17 年 7 月 20 日(水)
1 回目 13 時 30 分 2 回目 18 時
- 場所 講義棟 A 講義室
- 内容 1 . 「理系学生の就職内容」
2 . 職務適性テスト
- 講師 日経就職ガイド (株)ディスコ
リサーチマーケティング部
山 砥 敏 宏 氏

第 25 回技大祭

学生による技大祭が開催された。

本祭 平成 17 年 9 月 17 日(土)
平成 17 年 9 月 18 日(日)

秋季球技大会

学生による秋季球技大会が課外活動団体会議主催により開催された。

- ・期日 平成 17 年 9 月 24 日(土)
- 場所 体育館・多目的グラウンド
- 成績
フットサル
優 勝 FCリタ
第 2 位 W (ダブルユー)
- ソフトボール
優 勝 つおし
第 2 位 T . Domitorys
第 3 位 もうすぐ実務訓練

第 2 回長岡技術科学大学マレーシア同窓会

本学が一層国際化を推進していく上で重要な拠点であると思われるマレーシアにおいて、卒業生との様々な取組みと効果を期待し、開催した。

- ・日時 平成 17 年 8 月 6 日(土) 19 時 45 分
- 場所 Saloma Theatre Restaurant
(クアラルンプール)
- 出席者 卒業生・修了生 40 名程度
西口副学長、石崎副学長等

第 7 回 (平成 17 年度) 高等専門学校及び技術科学大学図書館情報シンポジウム

法人化による合理化の激動の時代となり、これまで以上に的確な対処及び高専 - 高専機構と本学との連携強化を図る目的で開催した。

- ・期日 平成 17 年 8 月 18 日(木) ~ 19 日(金)
- 場所 マルチメディアシステムセンター
情報処理センター
第 1 会議室

テーマ 「高専 - 技大時代に応じた図書館連携サービスの展開」

内容

【講演】

「国際学術コミュニケーションの現状と課題
- SPARC/Japan - 」

安達 淳 氏

(国立情報学研究所 開発・事業部長)

「機関リポジトリの現状と課題」

尾城 孝一 氏

(国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課長)

「法人化後 1 年経過して

- 経過状況と今後 - 」

前 晉爾 氏

(独立行政法人国立高等専門学校機構理事/旭川工業高等専門学校長兼務)

「高専との連携」

西口郁三

(長岡技術科学大学附属図書館長 / 副学長)

【検討会】

「図書館システムの連携における高専・長岡技大のあり方検討会」

【トレーニング】

「ScienceDirect」

ゼファー (株)

「JDream」

(独) 科学技術振興機構

「MathSciNet」

丸善 (株)

平成 17 年度科学研究費補助金交付決定一覧

(単位：千円)

研究種目	課題番号	研究代表者	研究課題名	交付決定額	研究期間
特定領域研究	14050043	野坂 芳雄	反応活性種の時空間解析による高機能光触媒の設計	4,900	H14 -18
	16040208	伊藤 治彦	水素含有ラジカルの分光計測にもとづく電界放出型マイクロプラズマ素子の最適化	3,000	H16 -17
	16041214	曾田 邦嗣	蛋白質の非天然状態の構造における疎水効果の役割と分子機構の解析	5,900	H16 -17
	16047208	渡邊 和忠	ジャクスタパラノード分子複合体による軸索 - ミエリン間情報伝達機構の解析	3,400	H16 -17
	16080102	小松 高行	パノスコピック形態制御された希土系物質の光物性とその高次機能設計	2,100	H16 -20
	16080207	小松 高行	希土類原子加熱法によるパノスコピック形態制御光学機能ガラスの創製と光波制御	11,400	H16 -20
	17029022	井上 泰宣	水の分解反応に対する d10 電子状態の光触媒の活性	2,700	H17 -18
	17074002	三上 喜貴	技術リスク管理のための社会システムの歴史的発展過程に関する研究	4,500	H17 -21
		8件	計	37,900	
基盤研究 (S)	16104006	東 信彦	高分解能計測技術を用いた極地氷床氷のミクロ物性の解明と変形機構図の構築	23,400	H16 -20
		1件		23,400	
基盤研究 (A)	15206088	井上 泰宣	共鳴振動効果を用いた制御機能を持つ固体触媒の開発	7,300	H15 -18
	16201018	大橋 晶良	活性汚泥法からの脱却・21世紀の超低コスト型新規下水処理システムの創成	9,200	H16 -19
	16206054	原田 秀樹	途上国の水起因衛生リスク低減のための持続可能な適正下水処理技術の国際共同開発	10,700	H16 -18
	16206068	斎藤 秀俊	酸化物ナノアーキテクチャーの光学的ハーモニー	18,000	H16 -18
	17200008	和田 安弘	生体信号で駆動される Simulated Brain の運動機能学習獲得	16,500	H17 -19
	17206066	高田 雅介	室温作動型オプティカル水素センサの研究	13,900	H17 -20
	17206076	鎌土 重晴	マグネシウム合金素材創製技術のグリーンプロセス化	28,700	H17 -20
		7件	計	104,300	
基盤研究(B)	15300070	中川 匡弘	脳波のカオス・フラクタル性の計測技術の確立と感性情報処理システムの創製	2,000	H15 -17
	15310034	小林 高臣	内分泌攪乱物質認識分離機能性ハイブリッド分子インプリントフィルターとその応用開発	800	H15 -17
	15360046	岡崎 正和	超高温用 TBC 被膜の密着機構・強度の支配因子解明と熱疲労寿命延伸・設計への展開	3,100	H15 -17
	16300265	植野 真臣	eラーニングにおける学習履歴の高度データ・マイニング機能を持つ知的 LMS の開発	4,800	H16 -17
	16310054	解良 芳夫	難分解性含塩素有機リン酸トリエステル類の微生物分解機構の解明	7,300	H16 -19
	16350098	梅田 実	集積型パウダーマイクロ電極を用いるナノ粒子電極触媒上のアルコール酸化反応機構研究	6,400	H16 -18
	16350111	藤原 巧	レーザーによるガラスのナノ局所構造制御と光子伝達型フォトニック回路の創製	5,000	H16 -18
	16360050	武藤 睦治	ツインレーザービームおよび熱応力解析による機能性材料の精密診断 - "評価" から "応用" へ、破壊力学の新展開 -	2,700	H16 -18
	16360137	野口 敏彦	環境と運転性能を両立する車載用ターボチャージャーの超高速電動ドライブに関する研究	4,000	H16 -17
	16360171	河合 晃	高分子集合体間の相互作用力制御に基づいた 3.5 nm サイズの微細レジストパターン開発	3,700	H16 -18
	16360217	杉本 光隆	リングせん断試験による地盤と鋼の動摩擦把握による急曲線シールド機モデルの高精度化	6,400	H16 -18
	16360225	丸山 久一	日本海沿岸の過酷環境下における社会基盤コンクリート構造物の維持管理対策	5,100	H16 -17
	16360312	石黒 孝	メソスコピック凹凸・光整合電極を組込んだ高効率色素増感太陽電池システムの創製	8,400	H16 -18
	16360324	小松 高行	サマリウム原子加熱法による方位制御単結晶ラインの創製とデバイス展開	3,700	H16 -18
	16380058	福田 雅夫	PCB 分解酵素系転写誘導の分子メカニズムの解明	8,500	H16 -18
	17330051	三上 喜貴	情報政策の立案・点検のための目標 / 指標体系	4,300	H17 -20
	17360061	田辺 郁男	ナノ金型のための超高精度で極低価格なマイクロリソグラフィ技術の開発	9,800	H17 -18
	17360062	明田川正人	メートル標準に準拠し光路差を周波数から直接測定するピコメートル干渉測長法の開発	10,300	H17 -19
	17360123	大石 潔	安全で快適な次世代通勤電車のための接線力推定値帰還による空転滑走再粘着制御の開発	9,300	H17 -19
	17360158	江 偉華	テラヘルツジャイロトロンの実証実験 - 高輝度遠赤外光源を目指して -	9,500	H17 -19
17360203	下村 匠	細孔構造モデルによるコンクリート構造物中への腐食促進物質侵入過程の高精度解析	9,600	H17 -18	
17360231	陸 旻皎	レーザー広域積雪深計測と分布型融雪モデルによる融雪流出予測システムの開発	7,800	H17 -19	
17360351	井原 郁夫	高温超音波2次元アレイセンサーの開発とその凝固モニタリングへの適用	12,300	H17 -18	
		23件	計	144,800	

基盤研究 (C)	15500611	加納 満	工学系留学生のための教科書読解支援Viewシステムの開発研究	1,200	H15-17
	15560040	濱崎 勝義	Bi-2212単結晶を用いたSISナノアレイ型高周波ミキサの開発	500	H15-17
	15560322	中川 健治	次世代IPネットワークにおけるQoS制御の研究	700	H15-17
	15560469	藤田 昌一	市街地の雨水排除における流出解析技術の近代化に関する研究	600	H15-17
	16500123	中村 和男	心身様態対応の動作理解・生成のための言語媒介コンピューティング	900	H16-18
	16550108	竹中 克彦	ジアルキルアミド基を含むポリジエンを用いた高分子キラルストレイナーの創製	600	H16-18
	16560022	赤羽 正志	ホログラフィック光誘起メソスコピック界面による液晶分子配向制御と記録素子への応用	1,200	H16-17
	16560034	打木 久雄	Ce添加カルシウムチオガレート結晶の光利得特性とレーザー発振	500	H16-17
	16560177	門脇 敏	環境触媒と高温空気燃焼技術を利用した水素・メタン超希薄燃焼のスマートコントロール	800	H16-17
	16560206	矢鍋 重夫	プリンタ・複写機における紙しわ発生メカニズム解明に関する基礎研究	400	H16-17
	16560207	太田 浩之	転がり案内の玉通過振動の計算予測と低減技術の開発	1,500	H16-18
	16560459	力丸 厚	衛星観測データによる森林被覆密度分布推定のグローバル適用アルゴリズムの開発	800	H16-17
	16560628	佐藤 一則	電気伝導性酸化物微粒子を高分散担持した電解質・燃料極界面のメタン完全酸化活性	1,100	H16-17
	16580055	政井 英司	リグニンの有用物質変換に必要なプロトカテック酸メタ開裂系遺伝子群の転写制御	900	H16-18
	17500063	湯川 高志	特許マップ自動作成技術の研究	1,800	H17-18
	17550186	河原 成元	ナノマトリックス分散高分子材料の創製	2,800	H17-18
	17560117	金子 覚	四角穴パターンを有する平行ダンパシールの乱流静特性	2,600	H17-18
	17560139	高橋 勉	高機能色素薄膜製造を目指した塗布・乾燥過程における色素液晶の流れと構造変化の解明	2,800	H17-18
	17560177	青木 和夫	微粒子を含む液体における電気二重層の作用と伝熱制御	1,900	H17-18
	17560334	岩橋 政宏	国際標準符号化技術を画像認識に活かしたプライバシー・コンシャス・ビデオ通信方式	1,400	H17-18
17560470	佐野 可寸志	都市内物流施策評価のためのマイクロシミュレーションモデルの開発	2,000	H17-18	
17560545	中出 文平	非線引き都市計画区域における用途地拡大・縮小の実態とその要因に関する研究	1,500	H17-19	
17560594	西野 純一	DLC膜の密度に注目したマテリアルアトラス創製	3,000	H17-18	
17560612	松原 浩	新規超高機能複合材料創出のための超微粒子のめっき共折における特異性の解明	2,700	H17-18	
17580287	高原 美規	コケ原系培養のミクロとマクロにおける環境保全への適用	2,000	H17-18	
		25件	計	36,200	
萌芽研究	16650001	三上 喜貴	国際符号化文字集合におけるCollating Weightの設計法に関する研究	900	H16-18
	16655087	小松 高行	アサーマル性と光非線形性を同時に満たす透明結晶化ガラスの創製	1,300	H16-17
	16656087	野口 敏彦	交流モータのユニバーサルセンサレス制御の可能性に関する研究	1,800	H16-17
	16656105	河合 晃	微細凹凸構造での微小気泡の吸着・脱離制御に基づく新規メモリデバイスの開発	1,200	H16-17
	16656147	陸 旻皎	ダム計画の争点となっているカバー率の統計的性質に関する研究	500	H16-17
	16656203	高田雅介	通電加熱による紫外発光酸化亜鉛結晶の新規作製法に関する研究	900	H16-17
	16656224	伊藤 義郎	IT・OE用基板のレーザークリーニング機構の実空間・時間分解応力測定による検証	1,100	H16-17
	16658036	井町 寛之	微生物の共生関係を巧みに利用した嫌気共生培養による未知環境微生物の分離手法の確立	1,700	H16-17
	17650061	中川 匡弘	近赤外分光法を用いた感性情報計測システムの構築と脳直結型ロボット制御技術の開発	2,600	H17-18
	17650257	植野 真臣	入試作問業務におけるナレッジ・マネージメント・システムの開発と実践的評価	2,100	H17-18
	17651044	大橋 晶良	環境微生物の機能遺伝子の視覚的検出	3,500	H17
	17655075	城所 俊一	蛋白質・リガンド相互作用の等温滴定熱量測定法の開発	1,800	H17-18
	17655092	野坂 芳雄	光触媒による痴呆症等の繊維化疾病の治療の開発	2,400	H17-18
	17656142	下村 匠	表面色を指標とした構造物中のコンクリート含有率の非破壊測定	1,500	H17-18
	17656216	中山 忠親	大気圧プラズマ法による準安定窒化物ナノ粒子の創製	1,900	H17-18
	17656220	末松 久幸	遷移金属フェライト系複合材料中の界面誘起金属-絶縁体転移	2,900	H17-18
	17656247	斎藤 秀俊	新型アルミネート系高輝度青色蛍光体の創製	3,000	H17-18
		17件	計	31,100	

若手研究(A)	17685014	齊藤 信雄	共鳴振動現象による動的格子変位効果を用いた窒化物複合薄膜触媒の反応選択性制御	13,600	H17 -18
	17685021	中山 忠親	酸化物ナノチューブを拘束鋳型とする異方構造制御材料の創製	13,400	H17 -19
	17686057	岡元智一郎	通電加熱法によるカーボンナノチューブおよびカーボンナノワイヤの新規合成法の確立	13,000	H17 -19
		3件	計	40,000	
若手研究(B)	15740178	加藤 有行	E u光学遷移を利用したストイキオメトリック希土類硫化化合物レーザー媒質	500	H 15 -17
	15760508	鈴木 常生	材料設計を基盤とした次世代高硬度・耐酸化性コーティング材料の開発	1,200	H 15 -17
	16700134	山本 和英	高密度表現を利用したまとめ型要約に必要な言語変換技術	1,600	H16 -17
	16700224	大西 徹	音楽感性を利用した心理・健康診断システムの開発	500	H16 -17
	16720119	松田真希子	複合名詞句形成のメカニズムとその応用	1,100	H16 -18
	16750010	西山 洋	金属担持酸化物の触媒作用に及ぼす弾性表面波の格子変位効果	1,400	H16 -17
	16760195	磯部 浩己	超音波振動による音響放射圧を利用したクランプ機構を持つインチワーム型微動装置	1,200	H16 -17
	16760319	カスリホシ リヨ	アウェアネス映像における人物表示の制御によるプライバシー保護手法の開発	400	H16 -17
	16760390	山川 優樹	大変形地盤挙動の高精度予測評価：合理的解析手法の開発と現行設計基準への反映	700	H16 -18
	16760487	樋口 秀	地方都市における高齢者の中心市街地への移住可能性に関する研究	1,000	H16 -17
	16760530	武田 雅敏	ホウ素系化合物におけるキャリア制御 - 熱電材料としての特性向上 -	1,500	H16 -17
	16780052	宮内 啓介	P C B分解酵素系における新規転写制御メカニズムの解明	1,000	H16 -17
	17710006	高田 守昌	南極氷床コアの高分解能光散乱強度解析による層位形成物質の解明と年層解析	2,700	H17 -18
	17710129	鈴木正太郎	大規模火災における熱放射予測の基礎研究－熱泳動現象に粒子形状が及ぼす効果－	1,600	H17 -18
	17730229	遠山 正朗	取引コストの視点による情報通信技術が企業経営に及ぼす影響についての技術経営論研究	2,000	H17 -18
	17750201	山崎 理絵	有機ゲル中の繊維状凝集体の成長過程をリアルタイムで観察する	100	H17 -18
	17760075	宮下 幸雄	第二高調波を利用した応力のビジュアライゼーション	1,400	H17 -18
	17760159	赤堀 匡俊	導波管およびキャピティ内におけるマイクロ波加熱の高効率化と温度均一化制御	2,000	H17 -18
	17760229	伊東 淳一	交流交流直接変換技術による新エネルギー連係用電力変換器に関する研究	2,000	H17 -18
	17760387	豊田 浩史	不飽和土の力学特性を考慮したトンネル掘削にともなう地盤変形予測の高精度化	2,400	H17 -18
	17760540	紅野 安彦	レーザー集光照射結晶化プロセスの空間温度プロファイル計測と機構解明	2,100	H17 -18
	17760541	田中 諭	新規2軸磁場成形法による2軸配向セラミックス創製	2,900	H17 -18
	17760607	村上 能規	超臨界二酸化炭素流体内のレーザーアブレーションによる機能性ナノ微粒子合成と制御	3,100	H17 -18
	17760620	小笠原 渉	－プロペラ構造のプロテアーゼにおける機能解明および新規酵素造成への利用	1,100	H17 -19
	24件	計	35,500		
奨励研究		宮 正光	環境教育を志向したストーリー性のある小中学生向け化学教材の開発	750	H17
	1件	計	750		
	109件	計	453,950		

日誌

- 7月5日(火) 大学院修士入試(高専専攻科修了見込者推薦)
- 6日(水) 学長と学生との懇談会
- 12日(火) 第3学年入試(一般, ~13日)
- 13日(水) 新潟県情報ネットワーク推進連絡会議(新潟県立図書館)
- 14日(木) 長岡技術科学大学協力会交流会
公開講演会
特別講演会
- 16日(土) 匠陵講演会
- 20日(水) 学内就職ガイダンス
- 21日(木) 学部3学年,大学院修士・博士合格発表
- 22日(金) 関東甲信越地区会計部課長会議(如水会館)
第3回国立大学法人等監事協議会
関東・甲信越支部会(埼玉大学大宮ソニックシティカレッジ)
- 25日(月) 平成17年度オープンハウス開始(~8月31日)
だいしビジネスフォーラム(ホテル新潟)
- 26日(火) 技術開発懇談会(ニュー大黒ビル)
- 28日(木) 平成17年度国立大学法人等部長級研修(学術総合センター, ~29日)
- 29日(金) 第1学期授業終了
AED講習会
匠陵講演会
- 30日(土) 夏期休業開始
- 31日(日) オープンキャンパス
父母懇談会
- 8月1日(月) 長岡まつり民踊流し参加(職員・学生)
大学教職員のための個人情報保護セミナー
- 2日(火) 現代GPフォーラム
平成17年度国立大学法人等課長級研修(学術総合センター, ~3日)
- 3日(水) eラーニング高等教育連携全体会議
- 4日(木) 高専-長岡技科大(機械系)教員交流研究集会(~5日)
高専-長岡技科大(化学系)教員交流研究集会(~5日)
高大連携講座(高校生対象)(~5日)
新潟県大学図書館協議会総会(敬和学園大学)
- 6日(土) 第3回長岡技術科学大学海外同窓会(マレーシア)
- 7日(日) 21世紀COEプログラムペナンワークショップ(マレーシア, ~10日)
- 8日(月) 中学校数学アカデミー
- 11日(木) 高大連携講座(高校教員対象)(~12日)
- 17日(水) 外国人留学生等見学旅行(~19日)
- 18日(木) 高大連携講座(高校生対象)(~19日)
平成17年度高専及び技科大図書館情報シンポジウム(~19日)
技術職員専門別研修
- 20日(土) 全学停電断水(電気設備点検)
- 22日(月) 大学院博士出願受付(学力1次, ~25日)
高専-長岡技科大(電気系)教員交流研究集会(~23日)
高専-長岡技科大(経営情報系)教員交流研究集会(~23日)
入試担当者連絡協議会(関東甲信越地区)
第3回全国高専テクノフォーラム(~24日,愛知県産業貿易館西館)
- 23日(火) 平成17年度独立行政法人国立高等専門学校機構東日本地域高等専門学校技術職員特別研修会(~25日)
- 25日(木) 大学院修士出願受付(学内,学力1次, ~30日)
長岡技科大・長岡高専技術シーズプレゼンテーション
第18回国立大学法人共同研究センター専任教官(教員)会議(九州大学, ~26日)
- 26日(金) 学位記授与式
- 29日(月) 大学院博士入試(学内1次選考, ~31日)
- 30日(火) 公開講座
- 31日(水) 夏期休業終了
- 9月1日(木) 第2学期授業開始
大学院博士入試(1次, ~2日)
- 2日(金) 大学院修士入試(学内・推薦)
- 3日(土) 21世紀COEプログラム第2回若手討論研究会(~4日)
- 5日(月) 入学式
大学院修士入試(1次, ~6日)
- 7日(水) 特別講演会(生物系)

- 8日(木) 大学教職員のための個人情報保護
セミナー(～9日)
- 9日(金) 定期健康診断(生活習慣病検査)
- 13日(火) 新潟工科大学・上越地域産学技術
交流会(ホテルハイマート)
- 15日(木) 実務訓練ガイダンス
大学院修士課程(学内推薦・一般)
合格発表
大学院博士後期課程(学内進学・一
般)合格発表
技術開発懇談会(ニュー大黒ビ
ル)
- 16日(金) 技大祭準備
- 17日(土) 技大祭(～18日)
- 20日(火) 新潟県内文部科学省関係機関人事
担当者会議(上越教育大学)
特別講演会(機械系)
平成17年度第1回コンソーシアム
会議(東京事務所)
- 21日(水) 匠陵講演会(長岡商工会議所)
大学トップマネジメントセミナ
ー(～22日,学術総合センター)
安全衛生管理に関する講演会
- 22日(木) 防災訓練
- 24日(土) 秋季球技大会
- 26日(月) 学位記授与式
平成17年度大学ガイダンスセミナ
ー(アトリウム長岡)
- 27日(火) イノベーション・ジャパン 2005(～
29日,東京国際フォーラム)
- 28日(水) 人事院勧告説明会
- 30日(金) (財)道央産業技術振興機構等産
学官連携視察見学会
長岡技術科学大学実務特許セミナ
ー

10月1日(土) 開学記念日

訃報

名誉教授(元建設系教授)小川 正二氏(享年
70才)は、平成17年8月3日(水)に逝去され
ました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。